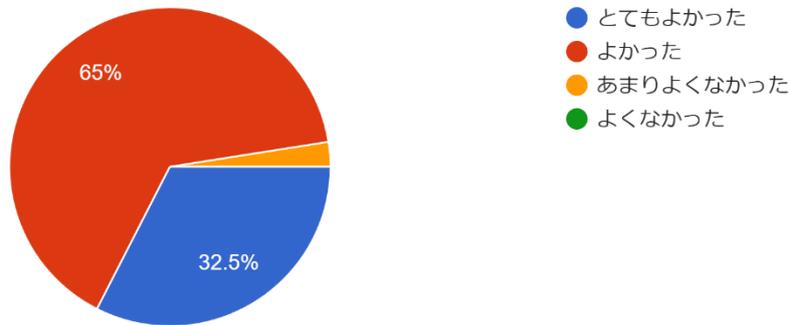


<p>研修名</p>	<p>夏期公開講座Ⅱ</p>
<p>日時</p>	<p>令和5年8月30日（火） 14:00～15:30</p>
<p>目的</p>	<p>長期的な支援の方法をたてるための基礎的な知識や、課題設定・手だての選定について考える機会とする。</p>
<p>研修方法</p>	<p>パワーポイントを用いた講義とグループワーク</p>
<p>内容</p>	<p>周辺の学校の先生方の参加も募った夏期公開講座で、長期的な支援についての基礎知識や、具体的なてだてについて考える研修であった。個別の指導計画やS-M 社会生活能力検査についての基礎的な知識を踏まえて、よく見られる支援目標や指導目標を具体的に例示した。また、基本的な障害の理解や課題設定における「本人や保護者の思いを十分考慮すること」、「3年後の姿やさらなる将来の姿がイメージできること」などのポイントを、例示しながら説明した。</p> <p>これらの内容を踏まえたうえで、架空の事例をもとに支援目標や支援の手立てを検討するグループワークを行った。</p>

夏期公開講座Ⅱ アンケート集計結果

①本研修の内容について

40件の回答

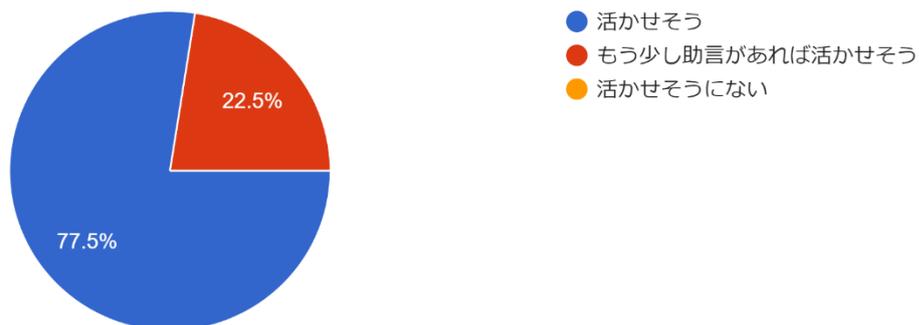


「とてもよかった」「よかった」と回答された方へ。今回の研修でよかったこと、学んだことを具体的にお書きください。(要約)

- ・個別の支援計画や指導計画の基本的な書き方や考え方を改めて理解することができた。また、支援計画を立てるときにどんな視点が必要かを学ぶことができた。
- ・架空の生徒について考える中で、支援計画を作成する手順や重要な視点をあらためて意識することができたので自立活動を考える際などで、今後活かせると思った。
- ・目標設定のあり方等について、思いを新たにすることができた。
- ・支援計画を書くにあたって注意することや、生徒の実態把握に必要な知識を簡潔にまとめられていて、分かりやすかった。

③今回の研修は今後の教育活動に活かそうか

40件の回答



「活かそう」と回答された方へ。どのような形で活かそうですか？(要約)

- ・自立活動の指導方法を検討する場面で、今回の研修で学んだ実態把握から課題、支援方法などを整理し、順序立てて検討する方法を活用したい。また、実態から課題だけでなく伸ばしていくポイントを考えることを意識したい。
- ・思わず身体が動いてしまう生徒の自立活動の中に、遊びの中で身体を動かして感覚を身につけられるように指導する方法があると教えて頂いたので、今後の指導の中に「遊びの中で」ということを多く取り入れていきたい。